（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス　メリーフィールド元山			
○保護者評価実施期間	2025年　１１月　１日	～	2025年　１１月　30日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	10	（回答者数）	9
○従業者評価実施期間	2025年　12月　１日	～	2025年　12月　31日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	5	（回答者数）	5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年　1月　26日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	ご本人、ご家族と信頼できる関係を築き、個々の目標に向かって、楽しみながら自らの力で表現、自立出来るようサポート、ご家族と一緒に成長を見守り喜びを分かち合えるアットホームな環境を提供していきます	信頼関係を築けるようご家族と、定期的なモニタリング、茶話会などを開催し、開かれた事業所を目指しています また、児童発達支援管理責任者を中心に、個々の思いや、願いに添えるよう、個別支援会議で話し合い心豊かなより良い支援に結びつくよう取り組んでいます	気付きがあった場合は、都度皆で話し合い支援方法の確認、改善に繋げていきます
2	社内研修、県、市の研修にスタッフ全員が積極的に参加し支援の質の向上を図っています	毎月のミーティング時に研修内容を振り返り 業務の効率化、支援の質の向上に取り組んでいます	研修やミーティングに参加できなかった職員には、個別に内容を伝え、全員が同じ思いで支援出来るよう心掛けていきます
3	子どもたちが快適に過ごせるよう、毎日の支援室の衛生、スペースの使い方、安全対策など、工夫し支援活動を行っています	子どもたちが来所するまでの換気、車いすや座位保持椅子の配置や支援活動終了時の掃除、消毒を徹底し定期的な訓練、BCP計画の見直しなどを行い、 安全、快適に過ごせるよう取り組んでいます	訓練時に、役割分担の確認、定期的なBCP計画の見直し、職員全員の理解と周知を行っていきます

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	座位保持いす車いすを利用する子どもの割合から支援活動スペースが十分ではないことです	在籍している子どもたちの大半が、 車いすや、座位保持椅子を必要とするため、 十分なスペースが確保しにくい状況です	活動内容によって、車いすや座位保持いすを別室に移動する等し、活動スペースを広げ、安全第一に支援活動を行っていきます
2	第三者による外部評価を行っていません	外部評価を行っていないことで、 業務内容、支援活動等の客観的な視点での改善を図れない状況です	外部評価を行うことで、客観的視点からの 業務内容、支援活動の質の向上が図れると考えています
3	児童クラブや児童館での地域の子どもたちとの交流、きょうだい児向けのイベント、交流等開催できませんでした	児童クラブや児童館への訪問は車いす等 利用している在籍児童にはサポートが難しく、 きょうだい児向けのイベントも開催を実現できていない状況です	今年度は、バリアフリー対応の児童館など検索し、訪問、また定期的に依頼している「よみがたり」の開催をきょうだい、地域の方々にも周知して交流の場を設けたいと思います

（別紙４）

公表　保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	放課後等デイサービス　メリーフィールド元山

公表日 2026年1月26日
利用児童数 2026/1/31
10　回収数 9

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	6	3	0	0	あのスペースでたくさん遊びを考えてくださりありがとうございます	使用していない車いすは別室に移動する等、活動内容に合わせて都度工夫し十分なスペースが取れるよう配慮しています
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	8	1	0	0		子ども2名に対し1名のスタッフを配置し、医療的ケアが必要な子供がいる場合看護職員を配置しています
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	9	0	0	0		車いすに対してスロープ等設置し、バリアフリー化、絵カードやカーテンで仕切るなどの工夫で子どもたちにも分かりやすく提示しています
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	9	0	0	0		活動後の清掃、消毒、整理整頓、必要に応じ玩具の片付け配置換えを行い、活動に合わせﾃｰﾌﾞﾙ、座位保持いすの設置など行っています
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	9	0	0	0		定期的なモニタリングにより、適切な計画、支援を行っています お子様の小さな変化、ご相談があればいつでもお問い合わせください
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか 。	9	0	0	0		5領域を踏まえた支援プログラムを軸に毎月のミーティングで話し合い、支援内容を考案しています
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	9	0	0	0		定期的なモニタリングを行い、ミーティングで話し合い、計画を作成しています お子様の小さな変化、ご相談があればいつでもお問い合わせください
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援 」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	9	0	0	0		モニタリングにより、保護者、本人の意向を踏まえ支援計画を設定しています
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	9	0	0	0		ミーティングで話し合った支援計画を確認、スタッフ全員で共有し、 日々の支援を行っています
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	9	0	0	0		季節や個々の能力に合わせたプログラムを立案し、毎週違った活動を提供しています
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	2	4	1	2		21世紀の森など公共施設を利用し、地域の子どもたちと交流の場を設けていますが、児童クラブや、児童館での交流は実現できていない状況です　今後地域の児童館とも交流をしたいと思います
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	9	0	0	0		契約時に説明を行い、必要に応じ都度管理者によって説明を行っています
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	9	0	0	0		モニタリング時に計画書、新しい計画書を提示し説明を行っています
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	9	0	0	0	平日昼間開催の為中々参加できない	研修会の情報提供をお手紙や連絡帳で提供し、必要に応じ支援を行います
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	9	0	0	0		活動記録や送迎時に日々の活動状況を伝え、必要に応じ情報共有する場を設けています

保護者への説明等	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	9	0	0	0		半年に一度のモニタリング時や要望があれば都度、相談助言等できる体制を整えています
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	9	0	0	0		児童指導員等全ての職員が計画書に基づき、共感した支援を心掛けています
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	7	1	0	1	平日昼間開催の為中々参加できない	父母の会情報や、定期的な茶話会の開催にて交流の場を設けています 開催日、時間等ご要望等ありましたらご連絡お待ちしております
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	9	0	0	0		いつでも相談できる良好な関係構築を図り、必要に応じ迅速に対応できる体勢を整えています
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	9	0	0	0		カード等コミニュケーションツールを使用したり、表情、態度から、気持ちを汲み取れるよう研鑽します
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	9	0	0	0		毎月発行ののつうしんやX配信で 活動の様子、ホームページでも 自己評価の結果等、掲載しています
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	9	0	0	0		個人情報書類などは施錠管理 しています
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	9	0	0	0		契約時、茶話会等で周知、訓練の実施はつうしんにて周知しています　また、マニュアル、訓練実施記録も手に取りやすい場所に配置しています
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	8	1	0	0		年4回の非常災害訓練を実施、 年1回マニュアルの見直しを行っています　また、訓練の様子をつうしんにて発信しています
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか 。	9	0	0	0		契約時、茶話会等で周知、訓練の実施はつうしんにて周知しています また、マニュアル、訓練実施記録も手に取りやすい場所に配置しています
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	9	0	0	0		速やかに保護者に連絡説明、 ヒヤリハット報告書記入し、 再発防止に努めます
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	9	0	0	0		
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	9	0	0	0		本年度も皆様の暖かい評価を賜りありがとうございます
	29	事業所の支援に満足していますか。	9	0	0	0		今後もスタッフ一同一丸となって、笑顔で過ごせる憩いの場を提供していきます

（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	メリーフィールド元山

公表日　2026年　1月　26日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	2	使用していない車いすは別室に移動する等活動内容に合わせて都度工夫して十分なスペースが取れるようにしています	活動スペースの整理整頓を行い、安全第一に活動していきたいと思います
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	5	0	子ども2名に対し、1名のスタッフを配置し医療的ケアが必要な子どもがいる場合は看護職員を配置しています	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	0	車いすに対してスロープなど設置、絵カードやカーテンで仕切るなど子どもたちにも分かりやすく掲示しています	個々の特性に合わせたツールを作成し提示していきます
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0	活動後の清掃、消毒、整理整頓、必要に応じ玩具の片づけ配置換えを行い、活動に合わせﾃｰﾌﾞﾙ、座位保持椅子の設置を行っています	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0	必要に応じ、相談室を、個別に対応する支援室として使用しています	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	0	個別支援計画を基にスタッフ全員がPDCAサイクルに参画しています	ミーティング時不在の職員には漏れないよう、報告周知出来るよう徹底します
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	結果を職員全員で共有し、ミーティング等話し合いの場を設け、改善策等出し合っています	不在の職員にも共有できるよう、会議録やLINEなどで伝えていくようにします
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	日々、活動後に報告し合ったり、月1回のミーティングで意見交換問題点など話し合い、改善につなげています	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	4		現時点、外部評価を行っていないので今後の課題とします
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	外部や松戸市障害福祉課が主催する研修に積極的に参加し、不参加者にも共有しています	人員の関係から、研修会が午後、職員の休日に当たると出席することが難しが、全員が参加できるよう配慮していきたいと思います
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0	ホームページに掲載し、教室内にも掲示しています	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	0	アセスメントで得たニーズを基に学校での課題も含め分析し、計画書作成を行っています	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	日々の活動やモニタリングでの課題を職員全員から抽出し、共通理解のもと本人のニーズを中心に検討しています	

適切な支援の提供	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。	5	0	計画を基に日々の活動や支援方法を決め共有し支援を行っています	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	0	日々、活動記録に状況を記録し、５領域に分類されたアセスメントシートを用いて確認しています	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0	ニーズに合わせて、本人支援の他項目に分け具体的な支援内容を設定しています	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	基本のプログラムを立案後、 職員全員でミーティング時に話し合い決定しています	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	季節や、、個々の能力に合わせ プログラムを立案し、毎週違った活動を提供しています	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	0	個別と集団は分けて目標を設定し、職員全員に分かりやすく提示し、支援をしています	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	毎月のミーティングで支援方法を話し合い 当日は出勤時間が異なる為グループＬＩＮＥを活用し共有、周知した上で支援を行っています	職員全員一緒に話し合える機会が少ないので、不在の職員に伝え漏れのないよう心掛けます
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか。	5	0	支援終了時間が異なる為、振り返りや 気付いた事があった場合は、都度情報共有し 不在スタッフにもグループＬＩＮＥを通じて共有しています	職員全員一緒に話し合える機会が少ないので、不在の職員に伝え漏れのないよう心掛けます
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	毎日個別の活動記録に内容を記録し、支援内容を検証、改善に繋げています	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	適切にモニタリングを行い、本人と家族のニーズを中心に、学校目標確認後、見直しを行い支援につなげています	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	5	0	様々な遊びの提供だけでなく、子どもが主体となる遊びから、達成感につなげる支援や21世紀の森イベント等参加し基本活動を基に取り入れた支援を行っています	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	0	制作やおやつ作りなど、子どもが主体となる活動を取り入れ本人の意思を聞いたり 話すのが困難な子どもには選択肢を提示し 自己決定を促す支援を行っています	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	児童発達支援管理責任者がスタッフの意見をとりまとめ、参画しています	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	0	医療的ケアが必要な子どもに対しては 指示書に沿って看護職員がケアし、 保育、教育等に関しては相談員、学校と連携し支援を行っています	関連機関と連携を取り合っている事を職員全員に周知します
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	0	学校送迎の際、その日の情報共有し、その他必要に応じ、年間予定表や、携帯ツールを利用し連携を取っています	

関係機関や保護者との連携	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	0	必要に応じ情報共有し、相互理解に努めています	情報共有し得た情報を職員全員に周知します
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	0	必要に応じ情報提供を行っています	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか 。	4	1	相談員を中心に連携を取り必要に応じて連携を取っています	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	3	21世紀の森等近隣の公共施設を利用し、地域の子どもたちと交流の場を設けています	児童クラブや、児童館での交流は実現できていない状況です 地域の元山駅ビルの子ども館と交流したいと考えています
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	3	松戸重症児通所連絡会に参画することで、自立支援協議会と繋がり、情報共有しています	連絡会等出席状況や得た情報等職員に周知していきます
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	活動記録や送迎時に日々の活動状況を伝え必要に応じ情報共有する場を設けています	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント･トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	0	研修会の情報提供や必要に応じ支援を行っています	家族等が参加できる研修の情報提供を行っていることを職員にも周知します
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	契約時に説明を行い、必要に応じ都度管理者によって行っています	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	定期的に現状ニーズ学校目標などの確認し計画の見直しを行っています	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか 。	5	0	モニタリング時には計画書と、新しい計画書を提示し、同意を得ています	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	いつでも相談できる良好な関係構築を心掛け、必要に応じ面談助言を行っています	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	5	0	父母の会情報や定期的な茶話会の開催により交流の場を設けています	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	必要に応じ迅速に対応出来るよう体制を整えています	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	0	毎月発行の「つうしん」やX配信で連絡体制等の情報発信を行っています	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	個人情報書類は施錠管理しています	

	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	必要に応じ迅速に対応できるよう体制を整えています	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	0	地域の方によるよみがたりを開催し、地域に開かれた事業運営を図っています	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0	契約時、つうしん、茶話会などで周知し、マニュアルは手に取れる場所に設置しています	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0	毎年BCP計画策定見直し、年２～３回訓練を行っています	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	0	必要に応じ、服薬やてんかん発作の状況を保護者と確認、変更があった場合には速やかに差し替え職員に周知、確認を行っています	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0		現在該当者はいませんが必要に応じ、医師の指示書に基づく対応をします
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0	年1回の見直しと、計画に沿った必要な訓練等行っています	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	5	0	契約時や茶話会などで説明、周知しています	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	ヒヤリハット報告書はすぐ手に取れる場所に設置し速やかに記入、共有し、再発防止について検討しています	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	県や、市主催の研修会に参加し、不参加者にも情報の共有を行っています	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	0	契約時に説明を行い保護者と共有理解のもと了承を得て計画書に記載しています	